

市民の生活を守り 新たな賑わいを生み出す 盛岡まちづくり予算

本年度の予算が、市議会3月定例会で可決されましたので、概要をお知らせします。
【問】 財政課 ☎613-8362
【広報 I D】 1034441

当初予算の概要



本年度は、新型コロナウイルス感染症の対策と、総合計画による、将来のまちづくりやにぎわいを創造する事業と3つの戦略プロジェクトを中心に、右の5つの視点のもとで予算の編成を進めました。
市が目指すまちの将来像「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、まい進していきます。

予算編成 5つの視点

- 1 市民が日々の暮らしの中で感じている不安を払拭し、新しい生活様式のもとでの「日常」を速やかに回復する
- 2 官民一体となって、にぎわいのあふれるまちづくりに取り組む
- 3 産業の振興や魅力向上、働く場所の創出に取り組み、併せて若者の地元定着を図る
- 4 若い世代や子育て世代が安心して暮らすための施策を拡充する
- 5 交流人口の増加に向け、盛岡の価値や魅力を市の内外に発信する

予算総額

一般会計 1188億6600万円

特別会計 575億3300万円
(11会計)

一般会計は、盛岡南公園野球場の建築工事の他、子ども・子育て事業や障がい者の自立支援事業など、社会保障関係の経費が前年度に引き続き増加しました。また、盛岡バスセンターの整備や新型コロナウイルス感染症への対策事業などにより、前年度比39億7600万円(3.5%)増の1188億6600万円の予算総額となり、過去最高の予算規模です。

特別会計は、居宅介護や地域密着型など介護サービスへの給付費が増加する一方で、新産業等用地第一事業区の造成工事の完了や用地売却による収入の減少などから、11会計の合計で、前年度比2億5000万円(0.4%)減の575億3300万円となりました。

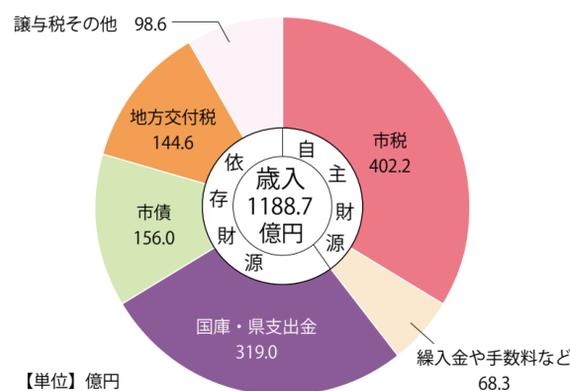
詳しくは市ホームページをご覧ください



一般会計の内訳

市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による所得の減少や企業の業績不振などによる個人・法人市税と固定資産税の減収により、前年度比26億3000万円(6.1%)減少しました。

国庫・県支出金は、盛岡南公園野球場の整備による負担金収入の増加などにより前年度比20億4300万円(6.8%)増加、地方交付税は、地方財政計画の内容や市の税収見込みなどから、前年度比7億8300万円(5.7%)増加しました。

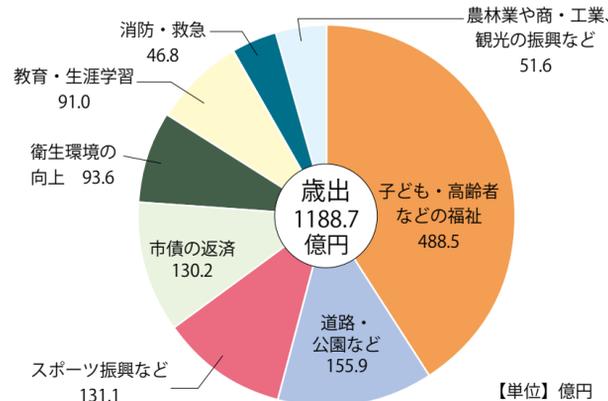


歳入

歳出

子ども・子育て事業や障がい者の自立支援事業など子どもや高齢者などの福祉に必要な経費が最も多く、前年度比15億2300万円(3.2%)増加しました。

盛岡南公園野球場の建築工事などのスポーツ振興や市役所の運営に必要な経費は前年度比17億7200万円(15.6%)増加、新型コロナウイルス感染症の地域外来・検査センターの運営やPCR検査の経費など衛生環境の向上に必要な経費は、前年度比7億2000万円(8.3%)増加しました。



総合計画の4つの基本目標

目指す将来像の実現のため、まちづくりの理念や方向性を示す4つの基本目標を設定しています。今年度、特に力を入れる事業は次のとおりです。

1 人がいきいきと暮らすまちづくり

- ▶妊産婦・乳幼児などへの医療費の給付 9億3002万円
- ▶予防接種の実施 8億6129万円
- ▶不妊に悩む方への特定治療支援 5842万円
- ▶河川などの維持・管理 3660万円

2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

- ▶芸術文化活動の振興事業 2075万円
- ▶内丸地区まちづくり推進事業 1043万円
- ▶史跡盛岡城跡の復元整備調査事業 390万円



3 人を育み未来につなぐまちづくり

- ▶向中野小学校の整備 6億1620万円
- ▶タブレットの導入などコンピュータ教育設備の整備 2億6129万円
- ▶中央公民館駐車場の新設 1971万円

4 人が集い活力を生むまちづくり

- ▶盛岡バスセンター整備 4億5863万円
- ▶JR田沢湖線新駅の整備 2億2786万円
- ▶中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業 1億8278万円
- ▶食と農のバリューアップ推進事業 2506万円

公共施設保有最適化・長寿命化計画事業

市は、施設の「最適化」と「長寿命化」に取り組んでおり、本年度は31施設で大規模改修などを予定しています。
☎5ページに関連記事あり



主な事業

- ▶盛岡南公園野球場の整備 30億2114万円
- ▶市営住宅の改修 7億1866万円
- ▶大新小学校校舎の改修 6億9448万円
- ▶仁王小学校校舎の改修 6億6465万円
- ▶城西中学校校舎の改修 4億973万円

重点的に取り組む施策

市総合計画の目指す将来像の実現に向け、3年間を目途に優先して取り組む「戦略プロジェクト」に、重点的に予算を分けました。主な新規・拡充事業は次のとおりです。

未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト 2億7461万円

新規

- ▶盛岡AI・IoTプラットフォーム事業 700万円
- ※AI:人口知能/IoT:多くのモノがインターネットに接続し、情報交換や制御を行う仕組み
- ▶県外大学生などを対象とした市内での就労体験や生活体験事業の実施 659万円

拡充

- ▶スマート農業(ドローン)導入の補助やリンゴ剪定作業の担い手確保 635万円
- ▶盛岡産農畜産物の魅力発信や輸出の支援 435万円



みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト 4億3661万円

新規

- ▶子ども食堂での子どもの見守り 880万円
- ▶保育所などでの医療的ケア児を受け入れるための支援 734万円
- ▶(仮称)太田児童センターの基本設計など 600万円
- ▶医療的ケアが必要な児童生徒が在籍する市立学校に看護師を配置 446万円



拡充

- ▶生活保護受給世帯などの中学生に学習の場を提供 2342万円
- ▶デイサービス型の産後ケア事業 155万円

新型コロナウイルス感染症の対策事業

新型コロナウイルス感染症の「感染症対策」と「経済対策」に優先的に取り組みます。

主な感染症対策

- ▶PCR検査の費用 2億3409万円
- ▶地域外来・検査センターの運営 1億5962万円
- ▶市立小中学校・幼稚園などで使用する衛生物品の経費 2243万円



主な経済対策

- ▶県の緊急支援融資制度などを令和2年度に借り入れた事業者に対する利子などの補給 4億1037万円
- ▶住居確保給付金の支給 1062万円

当初予算に加え、4億6457万円の補正予算を計上しました。

主な感染症対策

- ▶地域児童クラブなどへの衛生用品の購入支援 1億3070万円

主な経済対策

- ▶プレミアム付き応援チケット「モリオ☆エール」の発行 1億1000万円
- ▶交通系ICカードの導入、バスロケーションシステム更新への支援 6856万円
- ▶サテライトオフィス環境の整備支援 5000万円

